

# Photo ふなばし



ロマンスプロムナードは、憩いの場所として市民の皆さんに親しまれています

とくしゅう  
PART2

海老川  
長津川

緑とふれあいの空間

ロマンスプロムナード

MOVE

## 高瀬処理区など着々と 進む下水道整備事業

とくしゅう  
PART1

## みんなで取り組む 地球にやさしいリサイクル

- 市政トピックス
- 街角ホットニュース
- サークル通信
- WE ARE IN FUNABASHI

まちなかの文化財／ふなばしの民話  
市民ひとことインタビュー



船橋リサイクルセンター

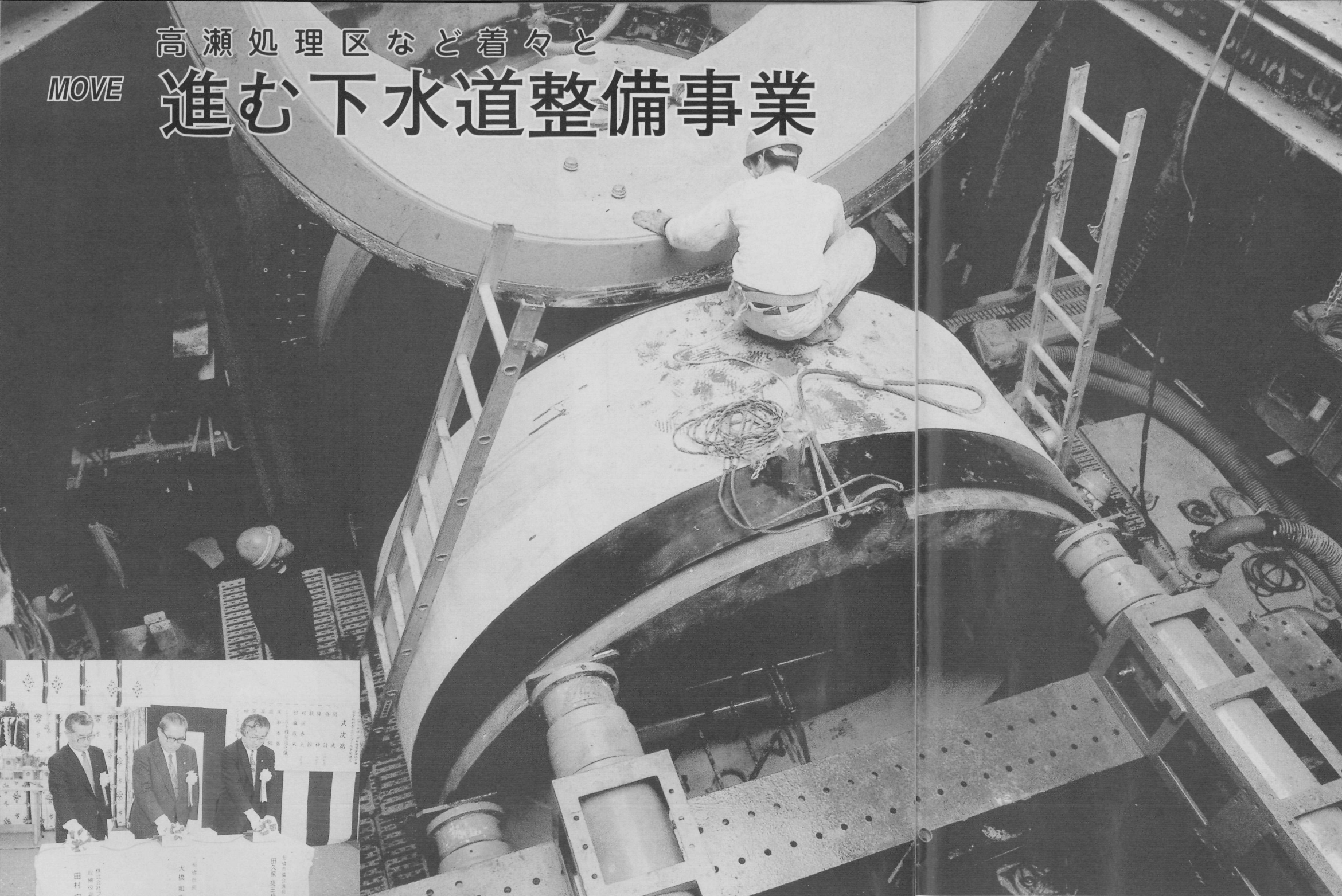
vol.79

広報ふなばし写真版

5月号（隔月第4月曜日発行）

MOVE

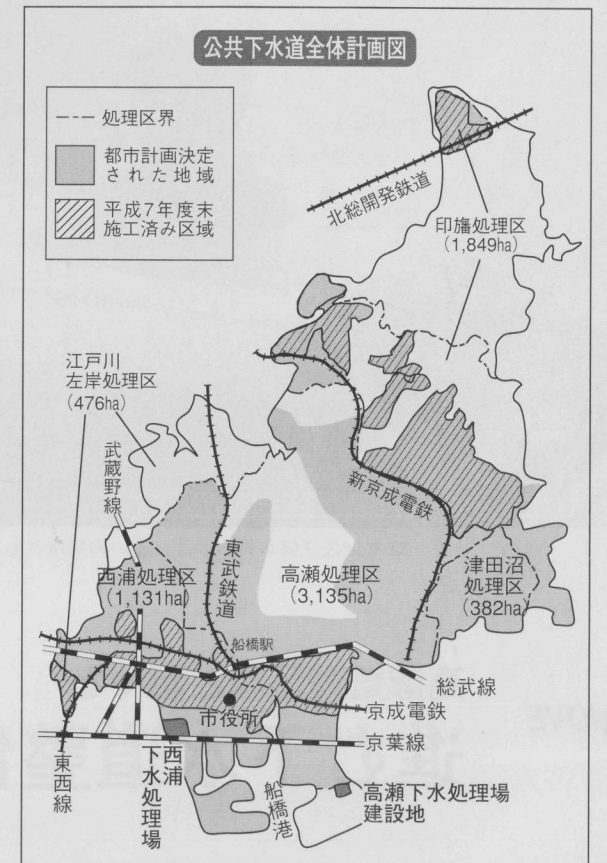
# 高瀬処理区など着々と進む下水道整備事業



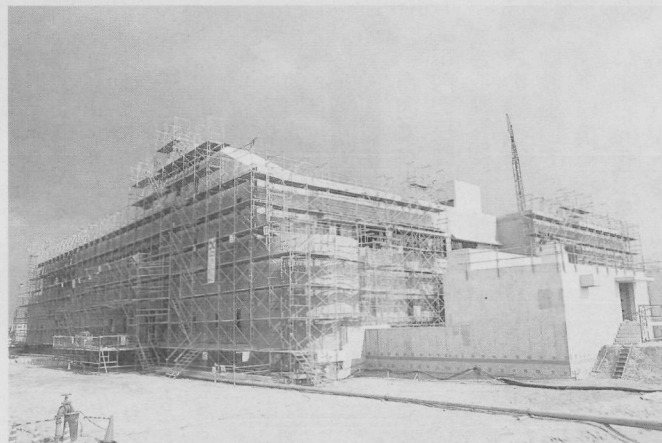
平成8年8月、大橋和夫市長（中央）や田久保捷三市議会議長（右）が出席して行われた三田幹線管渠建設工事の発進式

津田沼処理区の三田幹線管渠（下水管）建設工事。三山・田喜野井地区の都市型水害を

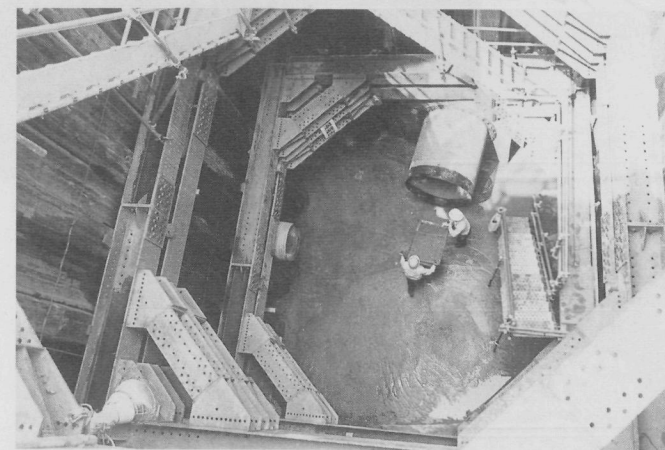
防ぐため、平成11年3月の完成を目指して工事を進めています



高瀬下水処理場につながる幹線管渠。内径5メートルは県内最大です



平成10年度末の一部利用開始を目指して工事が進む、高瀬下水処理場の沈砂池ポンプ棟



高瀬処理区では、JR船橋駅から東船橋駅までの北側で工事が進んでいます（長津幹線の立坑）



西浦下水処理場。1日あたりの処理能力を、4万8800立方メートルから6万1600立方メートルに高める増設工が始まります

船橋市では、市域の約81パーセントを下水道整備区域とし、これを水系などから西浦、高瀬、津田沼、印旛、江戸川左岸の5処理区に分けて整備を進めています。

今年度の下水道整備事業では、西浦、津田沼及び印旛処理区で、下水道の利用区域を拡大するための整備を進めると同時に、すでに稼働している西浦下水処理場の処理能力の増設工が始まります。

また、計画区域の45パーセントを占める高瀬処理区では、20万2000立方メートルの処理能力を持つ下水処理場の建設と、幹線管渠（下水管）や各家庭につながる枝線管渠の整備を急ピッチで進めています。平成10年度末の一部利用開始を目指しており、現在は、長津幹線管渠など、JR船橋駅から東船橋駅までの北側を中心に工事が行われています。

さらに、震災対策の目的で、県が整備する流域下水道（印旛・江戸川左岸）ネットワーク管を平常時に暫定利用するため、接続ルートの基本設計なども行います。

